

備前市事務事業評価表

事務事業名	統計(単市)事業		コード	06-01-11-02
			担当課・係	企画課 広報統計係
			担当者	下林博樹
事業実施期間			電話	64-1806
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり		
	中項目(基本施策)	ふれあい豊かなまちづくり		
	小項目(施策)	その他事務管理		

事業について	
目的 (何のために)	市勢要覧等市の単独統計の実施と、指定統計等調査データ等の集積による単市の統計結果を、各種行政施策の基礎資料として活用する。
対象 (誰・何を対象に)	各種統計資料利用者、関係機関、(市職員)
内容	平成18年度は、データ収集準備。 (毎年の単市統計集計と国・県等の統計データを利用し、市のデータ等を作成。)

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
H17年度統計発行なし 統計庶務事務	0回 0.01人	0回 0.12人	
事業費 (単位：千円)	事業費 直接事業費 68 人件費 60 合計 128	財源 国庫補助金等 委託費負担 市債 一般財源等	事業費 直接事業費 28 人件費 972 合計 1,000
必要人員	0.01人	0.12人	
結果指標	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比 活動にかかるコスト 単位当たりコスト	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比 活動にかかるコスト 単位当たりコスト	結果指標名 結果指標量 単位 対前年比 活動にかかるコスト 単位当たりコスト

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果		
どのような成果を得ようとしているか	各種行政施策の基礎資料として活用する。	
成果指標名	式又は説明	
成果指標量	17年度	18年度
到達目標値		到達目標年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： <input type="checkbox"/> )	妥当性評価<A~E> C 課題認識
市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	平成17年度は、単市の統計の発行を実施していない。 今後は、国・県の統計から抽出したものに単市の調査を加えた統計書を作成し、行政施策の基礎資料として活用する。
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である <input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	
手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	合併以前の市・町は統計書を作成をしていたが、合併前から昨年度は統計調査等を実施していない。 今後は、データで提供できる統計を検討する。
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	市町合併、国勢調査と重なり市独自の統計を作成していないので早急に作成する。
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 市、単独の統計データを早急に作成する。
----------	---	---	---------------------------

目標値	結果指標量	結果指標量
総合評価	市、単独の統計データを早急に作成する。	
	評価区分 <A~E> E	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	継続による作成時間の短縮を図る。		